



安倍政権が発足

沖繩
北方
相

山本氏

文科相

下村氏

(高崎出身)



入閣が決まり、首相官邸に入る下村氏
=26日午後5時ごろ



入閣が決まり、首相官邸に入る山本氏
=26日午後5時15分ごろ

26日午後の第182特別国会で第96代首相に選出された自民党の安倍晋三総裁(58)はただちに官邸で組閣に着手、本県選出参院議員の山本一太氏(54)を沖繩北方担当相に、旧倉渕村(現高崎市)出身で東京11区選出衆院議員の下村博文氏(58)を文部科学相に任命した。

皇居で行われる首相の任命式と閣僚の認証式を経て、同日夜に公明党と第2次安倍内閣を発足させる。

本県選出議員の入閣は2008年の麻生内閣での中曽根弘文外相と小淵優子少子化担当相以来。

山本氏は58年草津町生まれ。洪川高、中央大卒。JICA職員を経て、95年初当選。08年の福田改造内閣で外務副大臣。3期目。

下村氏は54年生ま

れ。高崎高、早大卒。東京都議を経て96年衆院初当選。06年に第1次安倍内閣で官房副長官。6期目。

このほかの閣僚は、民主党政権下で本體工事がストップした八ッ場ダム問題に対応する国土交通省に公明党の太田昭宏前代表(67)の就任が決まった。

防衛相に小野寺五典氏(52)、外相には岸田文雄氏(55)を登用。環太平洋連携協定(TPP)交渉参加問題への対応を担う農相には林芳正氏(51)を指名した。最優先課題とするデフレ脱却に向けては、経済再生担当相に甘利明氏(63)、経済産業相に茂木敏充氏(57)を起用した。谷垣禎一前自民党総裁(67)は法相、麻生太郎元首相(72)が副総理兼財務相、金融担当相に就任する。